

学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力頂き、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果はグラフ化し、質問ごとに、児童・生徒・学生、保護者・保証人、教職員の間にあるギャップを分かりやすく表示して、本校の学校運営や教育活動が児童・生徒・学生、保護者・保証人の皆様のニーズに対応しているかどうかなど、比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長・准校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思います。

1 アンケートの方法

「保護者・保証人用」、「児童・生徒・学生用」（小学部児童用、中学部生徒用、高等部生徒用、専修部学生用）、「教職員用」という質問用紙を、平成 28 年 10 月に配付して実施しました。回収率は、教職員が 78%、保護者・保証人が 82%、児童・生徒・学生が 88%でした。（前回、教職員 86%、保護者・保証人 74%、児童・生徒・学生 73%）

2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の 3 段階で回答しました
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の 5 段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。

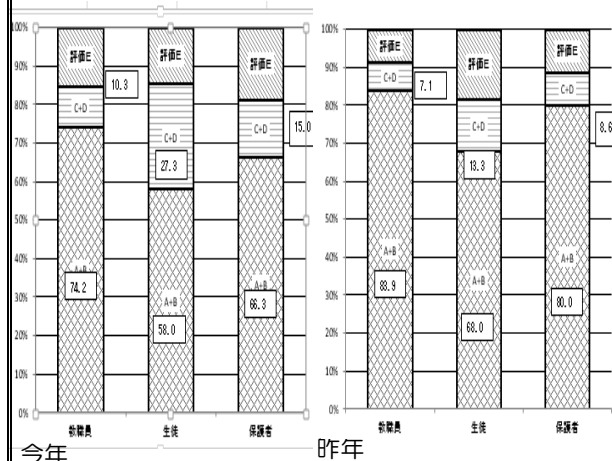
3 アンケート結果の考察と課題

*グラフの見方（下から）A+B 肯定的評価、C+D 否定的評価、評価E わからない

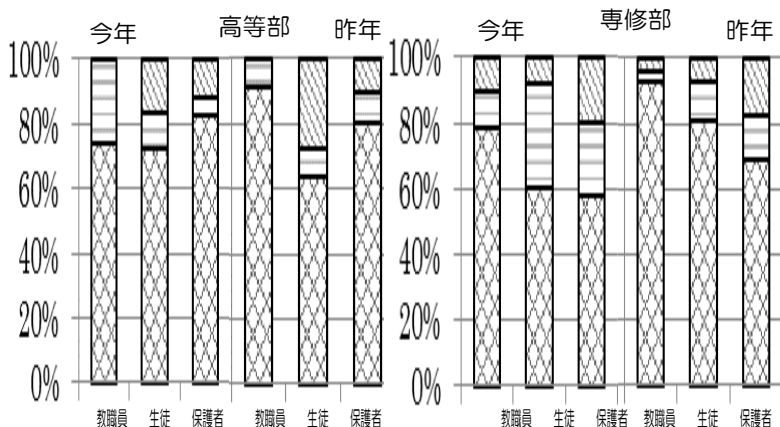
ID・カテゴリーと質問内容 学校全体の集計グラフ	分析コメント 特徴的な各部の集計グラフ																								
1 学校 学校に行くのが楽しいかどうか。 <table><caption>学校全体の集計グラフ (学校に行くのが楽しいかどうか)</caption><tr><th>年次</th><th>教職員</th><th>生徒</th><th>保護者</th></tr><tr><td>今年</td><td>A+B: 77.3, C+D: 15.9, 評価E: 6.8</td><td>A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9</td><td>A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9</td></tr><tr><td>昨年</td><td>A+B: 82.7, C+D: 14.7, 評価E: 2.6</td><td>A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6</td><td>A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6</td></tr></table>	年次	教職員	生徒	保護者	今年	A+B: 77.3, C+D: 15.9, 評価E: 6.8	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9	昨年	A+B: 82.7, C+D: 14.7, 評価E: 2.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6	今年度は高等部生徒の肯定的評価は 10%以上減りましたが、全体として保護者の肯定的評価は増えました。 <table><caption>学校全体の集計グラフ (比較)</caption><tr><th>年次</th><th>教職員</th><th>生徒</th><th>保護者</th></tr><tr><td>今年</td><td>A+B: 77.3, C+D: 15.9, 評価E: 6.8</td><td>A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9</td><td>A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9</td></tr><tr><td>昨年</td><td>A+B: 82.7, C+D: 14.7, 評価E: 2.6</td><td>A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6</td><td>A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6</td></tr></table>	年次	教職員	生徒	保護者	今年	A+B: 77.3, C+D: 15.9, 評価E: 6.8	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9	昨年	A+B: 82.7, C+D: 14.7, 評価E: 2.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6
年次	教職員	生徒	保護者																						
今年	A+B: 77.3, C+D: 15.9, 評価E: 6.8	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9																						
昨年	A+B: 82.7, C+D: 14.7, 評価E: 2.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6																						
年次	教職員	生徒	保護者																						
今年	A+B: 77.3, C+D: 15.9, 評価E: 6.8	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9	A+B: 88.6, C+D: 8.3, 評価E: 2.9																						
昨年	A+B: 82.7, C+D: 14.7, 評価E: 2.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6	A+B: 78.9, C+D: 15.5, 評価E: 5.6																						
【課題・反省等】肯定的評価は小中の生徒、保護者は、ほぼ 100%です。高の生徒、専の学生の肯定的評価が減りましたが、高、専の保護者の肯定的評価が増えています。一方、高の生徒の否定的評価は若干減っています。学校全体として楽しく学べる環境を整えたいと思います。																									
2 保護者との連携 学校による情報の周知徹底 <table><caption>学校による情報の周知徹底</caption><tr><th>年次</th><th>教職員</th><th>生徒</th><th>保護者</th></tr><tr><td>今年</td><td>A+B: 83.5, C+D: 8.3, 評価E: 8.2</td><td>A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4</td><td>A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4</td></tr><tr><td>昨年</td><td>A+B: 83.8, C+D: 3.6, 評価E: 12.6</td><td>A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8</td><td>A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8</td></tr></table>	年次	教職員	生徒	保護者	今年	A+B: 83.5, C+D: 8.3, 評価E: 8.2	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4	昨年	A+B: 83.8, C+D: 3.6, 評価E: 12.6	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8	昨年と比較すると肯定的評価は教職員が減り、保護者が若干増えたので教職員と保護者の肯定的評価の差がなくなりました。 <table><caption>学校による情報の周知徹底 (比較)</caption><tr><th>年次</th><th>教職員</th><th>生徒</th><th>保護者</th></tr><tr><td>今年</td><td>A+B: 83.5, C+D: 8.3, 評価E: 8.2</td><td>A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4</td><td>A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4</td></tr><tr><td>昨年</td><td>A+B: 83.8, C+D: 3.6, 評価E: 12.6</td><td>A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8</td><td>A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8</td></tr></table>	年次	教職員	生徒	保護者	今年	A+B: 83.5, C+D: 8.3, 評価E: 8.2	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4	昨年	A+B: 83.8, C+D: 3.6, 評価E: 12.6	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8
年次	教職員	生徒	保護者																						
今年	A+B: 83.5, C+D: 8.3, 評価E: 8.2	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4																						
昨年	A+B: 83.8, C+D: 3.6, 評価E: 12.6	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8																						
年次	教職員	生徒	保護者																						
今年	A+B: 83.5, C+D: 8.3, 評価E: 8.2	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4	A+B: 82.5, C+D: 1.1, 評価E: 16.4																						
昨年	A+B: 83.8, C+D: 3.6, 評価E: 12.6	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8	A+B: 77.1, C+D: 10.1, 評価E: 12.8																						
【課題・反省等】中学部の保護者、高等部の教職員の否定的評価が増えました。全体では今まで 10%ほどあった保護者の「わからない」が減りました。今後とも、すべての保護者に情報が行き渡るよう取組みを進めていきます。																									
3 保護者との連携 保護者の学校行事の参加 <table><caption>保護者の学校行事の参加</caption><tr><th>年次</th><th>教職員</th><th>生徒</th><th>保護者</th></tr><tr><td>今年</td><td>A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td></tr><tr><td>昨年</td><td>A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td></tr></table>	年次	教職員	生徒	保護者	今年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	昨年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	昨年と同様の結果が出ています。幼小の保護者はほぼ 100%です。高等部、専修部の保護者・保証人の参加もすこし増えましたが、中学部の保護者の参加が減りました。 <table><caption>保護者の学校行事の参加 (比較)</caption><tr><th>年次</th><th>教職員</th><th>生徒</th><th>保護者</th></tr><tr><td>今年</td><td>A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td></tr><tr><td>昨年</td><td>A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td><td>A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0</td></tr></table>	年次	教職員	生徒	保護者	今年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	昨年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0
年次	教職員	生徒	保護者																						
今年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0																						
昨年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0																						
年次	教職員	生徒	保護者																						
今年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0																						
昨年	A+B: 82.2, C+D: 17.8, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0	A+B: 60.0, C+D: 40.0, 評価E: 0.0																						
【課題・反省等】専修部は成人の学生が多いので、毎回このような結果になっています。学校としてはさらに、行事に参加しやすい工夫を進めていきます。																									

4 進路

一人ひとりに応じた進路指導



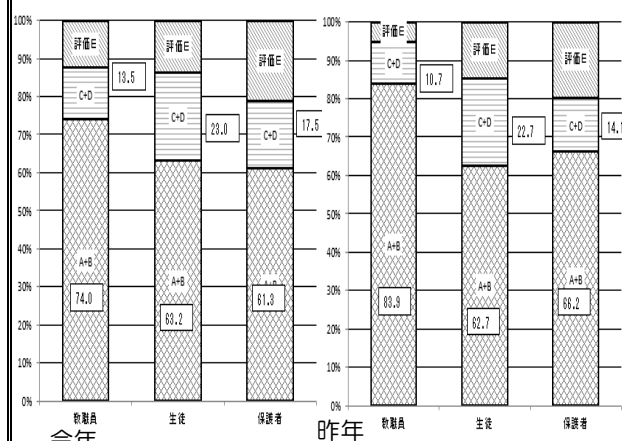
昨年と比較すると教職員、生徒、保護者3者の肯定的評価が減り、3者とも否定的評価が増えています。生徒の否定的評価が15%ほど増えています。



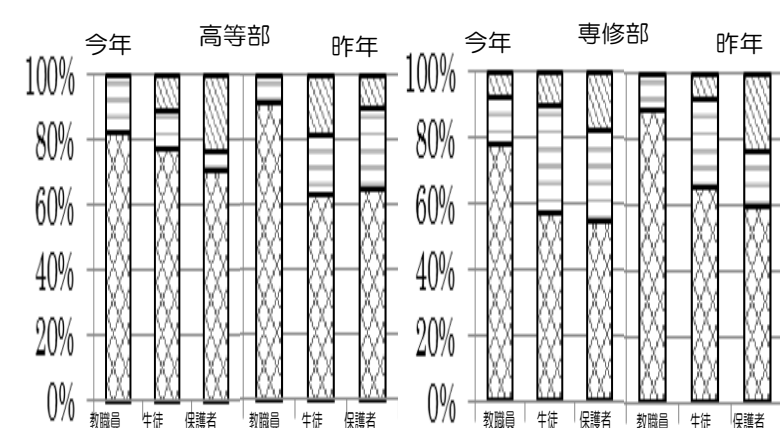
【課題・反省等】昨年と比較すると、専修部で学生の肯定的評価が20%減り、否定的評価が増えました。高等部、専修部の教職員、保護者の肯定的評価も減り、否定的評価が増えました。早急に課題を検討するとともに、今まで以上に担任、分掌が連携を密にして情報提供を行うなど、きめ細かな進路指導の取り組みが求められていると感じます。

5 生徒・学生指導

悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無



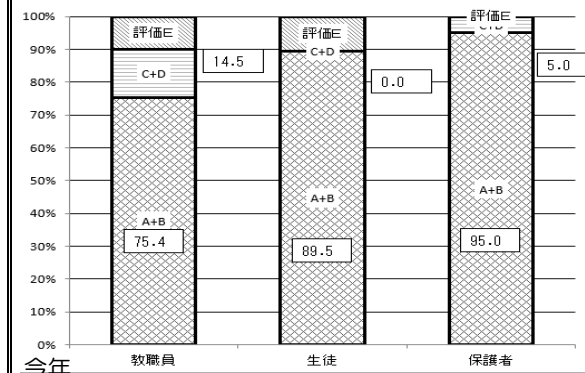
生徒の肯定的評価は60%を超えて、昨年とほぼ同じ結果です。否定的評価は少し減りました。ただ、専修部の学生の肯定的評価が減り、否定的評価が増えました。



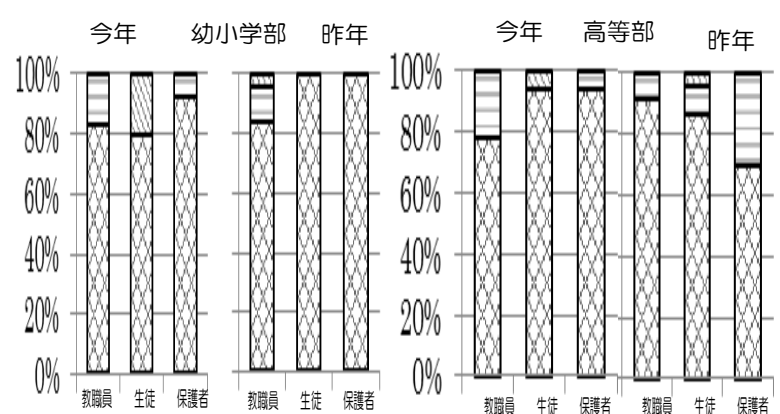
【課題・反省等】全体としては60%の生徒が相談できる先生がいると答えており、生徒と教職員のコミュニケーションがある程度とれていると思います。専修部の学生の30%が否定的評価なので、今以上に気軽に相談できる雰囲気を作るとともに、校内の相談システムの周知徹底にも努めます。

6 児童・生徒理解(幼小・中・高)

教職員の幼児、児童、生徒の障がいについての理解



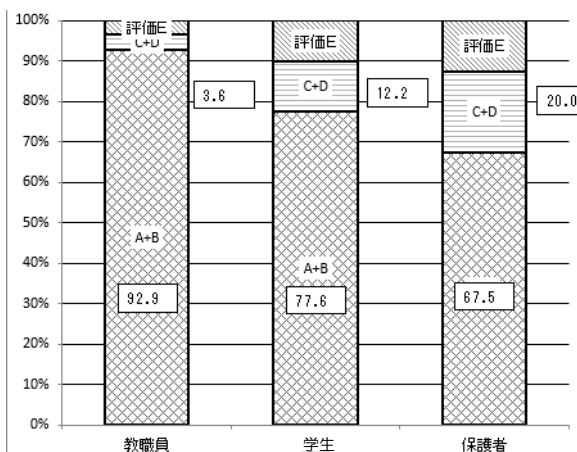
中の保護者は肯定的評価が100%、高等部の生徒、保護者の肯定的評価も増えています。



【課題・反省等】幼小学部、高等部の教職員に否定的評価が20%ほどあります。これからも研修会や事例検討会などさまざまな機会を通して、1人ひとりの在校生の障がいの状況について理解を深めていくと同時に、さらに各部の連携を密にして、幼児、児童、生徒、学生の情報の共有化を図っていきます。

7 児童・生徒理解（専修部）

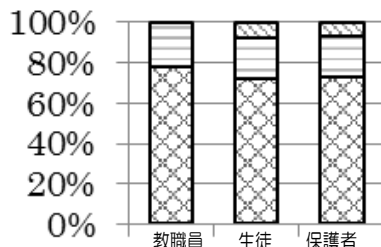
学生の障がいについて理解している教職員の割合



今年から専修部単独で学生の障がいを理解している教職員の割合を聞く質問に変更しました。

- A：とても多い（75%以上）
 B：半分以上はいる（50%以上～75%未満）
 C：半分以下である（25%以上～50%未満）
 D：とても少ない（25%未満）
 E：わからない

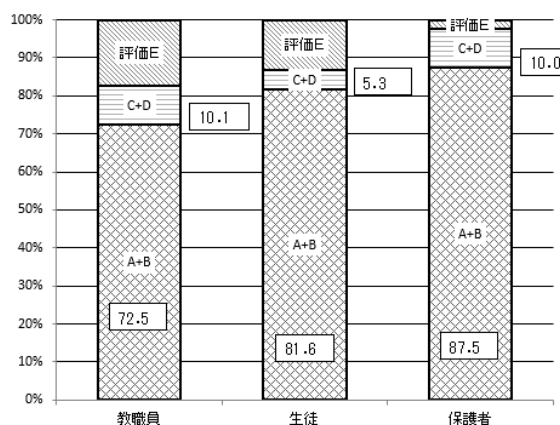
昨年



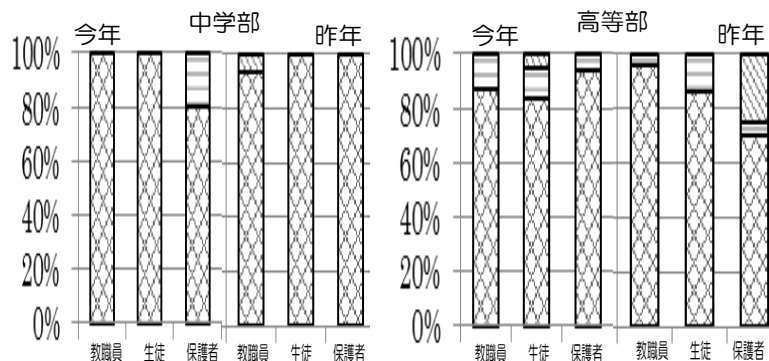
【課題・反省等】学生、保護者・保証人に比べると、教職員の肯定的評価が高いので、学生、保護者・保証人との間にギャップがあります。今後、こうしたギャップを埋められるよう学生一人ひとりの障がいについて理解を深めていくと同時に、情報や支援の方法について共有化を図っていきます。

8 授業（幼小・中・高）

わかりやすい授業の実施



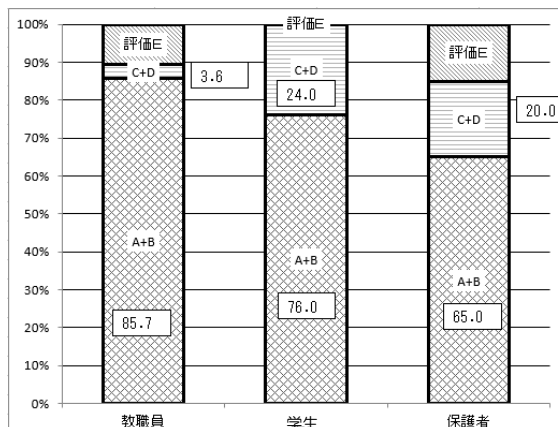
昨年と比較すると、中学部の保護者の否定的評価が約20%増えましたが、高等部の保護者の肯定的評価が増えました。



【課題・反省等】この結果を踏まえ、今後とも学習会や研修など様々な機会を通して、教職員のスキルアップを図っていきます。

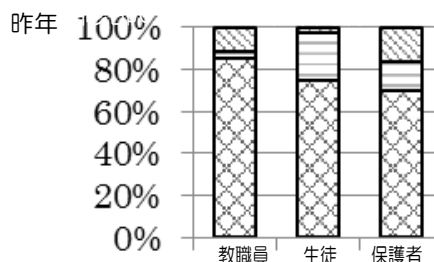
9 授業（専修部）

授業内容を工夫し、わかりやすい授業に努めている教職員の割合



今年から専修部単独で授業内容を工夫し、わかりやすい授業に努めている教職員の割合を聞く質問に変更しました。

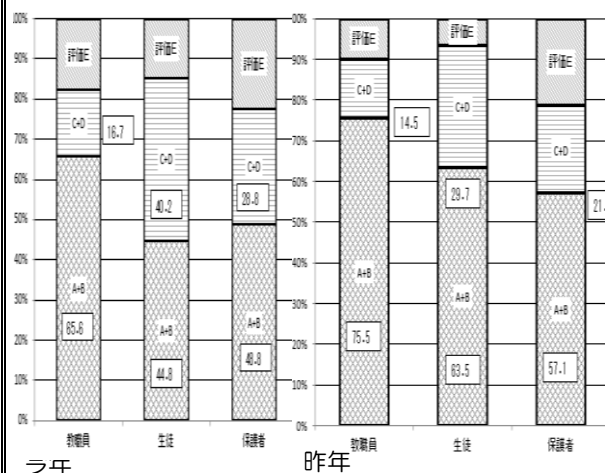
- A：とても多い（75%以上）
 B：半分以上はいる（50%以上～75%未満）
 C：半分以下である（25%以上～50%未満）
 D：とても少ない（25%未満）
 E：わからない



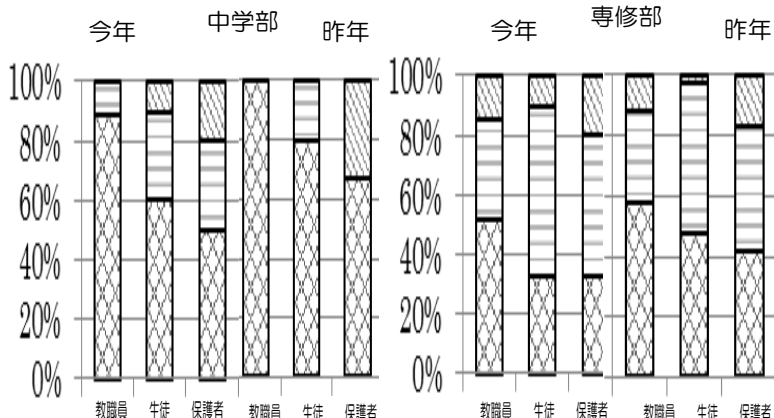
【課題・反省等】質問の仕方は異なりますが、昨年とほぼ同じ結果になっています。学生の否定的評価を減らすよう、今後とも学習会や研修など様々な機会を通して、教職員の授業力向上に努めてまいります。

10 授業

ICTを活用した教育の取り組み



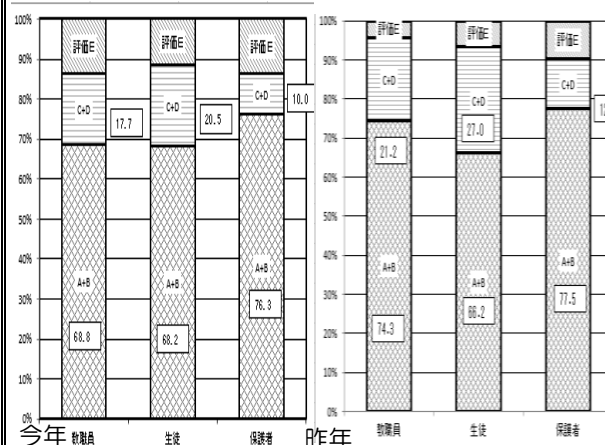
昨年と比較すると10%ほど3者とも肯定的評価が減り、わずかですが否定的評価が増えています。中学部の生徒、専修部の学生の肯定的評価が20%弱減りました。



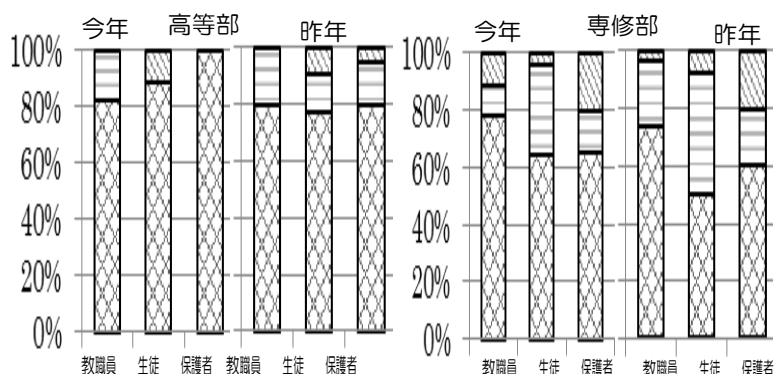
【課題・反省等】昨年と比較すると高等部の生徒の肯定的評価は70%あり、中学部も下がったとはいえ60%あります。全盲生徒の評価も高く、タブレットPCなどICT機器を授業に取り入れる取組みが定着しています。専修部は学科の特性上、教科書の電子化などが難しい面もありますが、教職員の研修や機器の整備を行い、ICTを視覚障がい教育に活用できるようにしていきます。

11 人権

幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進



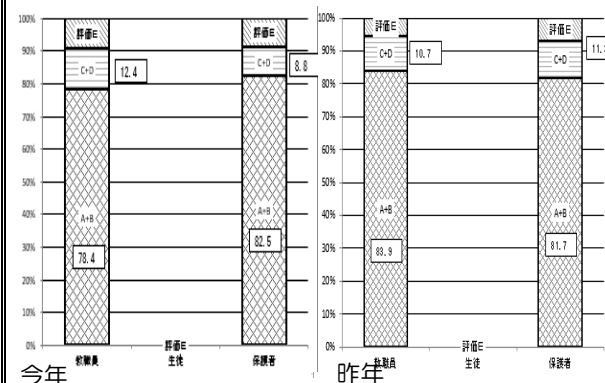
昨年と比較するとわずかに教職員の肯定的評価が減ったものの、高等部では保護者の肯定的評価が100%となり、専修部の学生の肯定的評価も増えました。



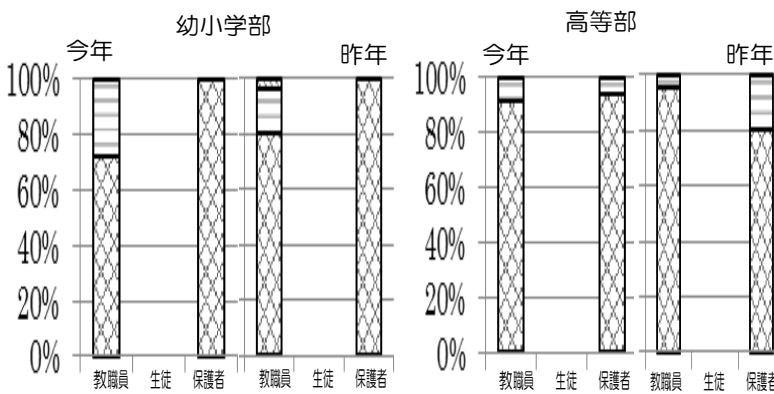
【課題・反省等】各部で人権について考える機会を設け、職員についても全校、各部で参加体験型の研修会を行っています。今後ともこうした取組みを充実させていきます。

12 人権

日常の教育活動における幼児、児童、生徒の人権の尊重



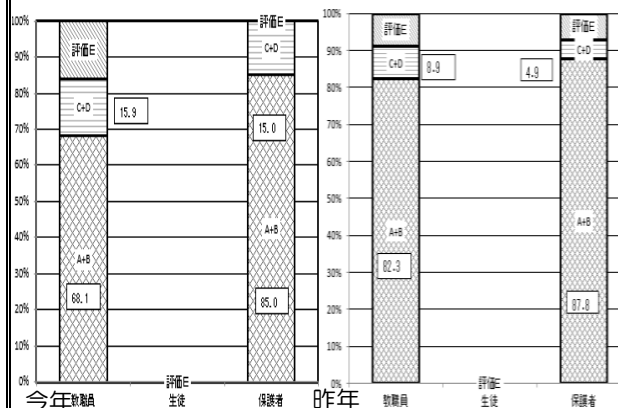
昨年と同様、肯定的評価が教職員、保護者とも80%ほどあります。高等部の保護者の否定的評価が減りましたが、幼小学部の教職員に否定的評価が20%強あります。



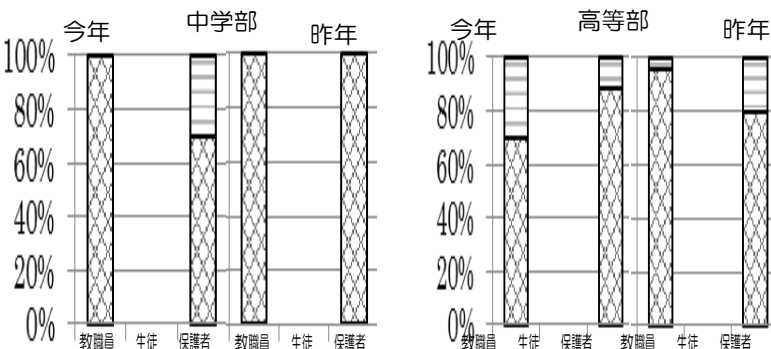
【課題・反省等】教職員、保護者とも約80%が、人権が尊重された教育活動が行われていると評価しています。しかし、否定的評価が無くなったわけではありません。こうした評価がさらに少なくできるよう、研修を充実させ、安全・安心に配慮された学校づくりをすすめていきます。

13 教育課程

幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成



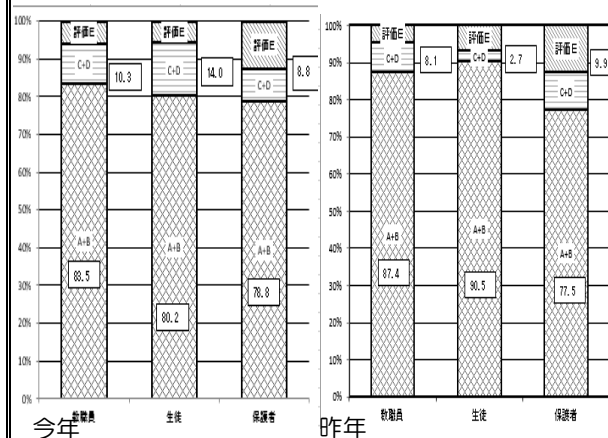
保護者の肯定的評価は昨年と比較すると若干減りましたが、85%あります。一方、教職員の肯定的評価は10%以上減り、70%を切りました。幼小、高の教職員、中の保護者に否定的評価が20%強あります。



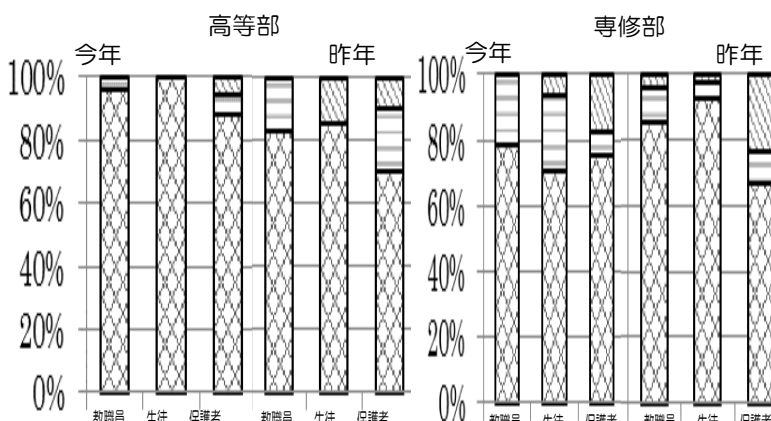
【課題・反省等】各部とも日頃の教育活動について意見を出し合い、幼児、児童、生徒の一人ひとりの障がいの実態に配慮した教育課程を検討していきます。

14 学校安全

地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか



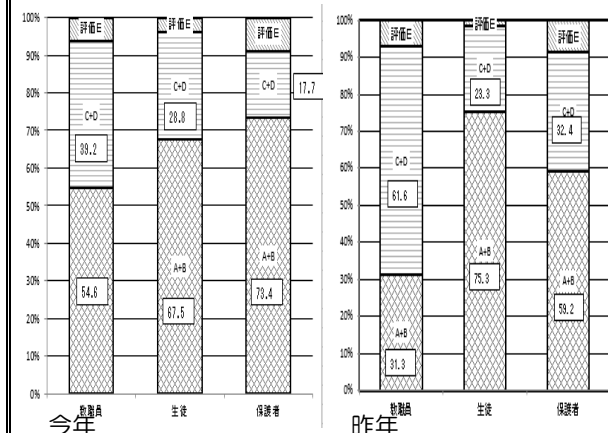
昨年と比較すると、わずかですが教職員、生徒の肯定的評価が減り、否定的評価が増えました。専の教職員、学生の否定的評価が増えたのが理由と考えられます。



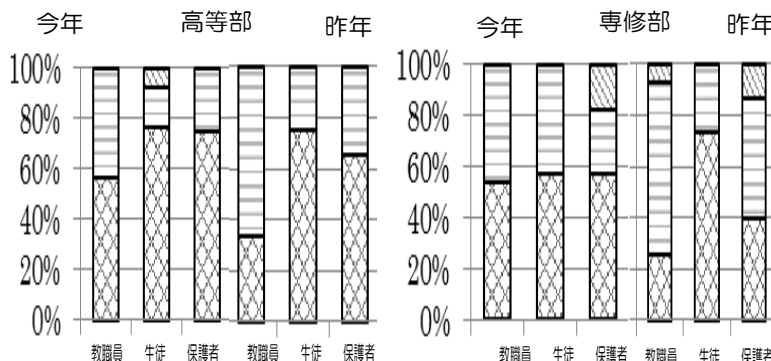
【課題・反省等】学校では定期的に火災、地震、不審者に対する避難訓練を実施しており、実際の緊急事態に対応できるよう工夫を加えて取り組んでいます。個々の訓練を検証し、実際に起きたときに教職員、生徒とも適切な行動がとれるようにしていきます。

15 学校安全

校舎は視覚障がい者にとって安全で使いやすいか



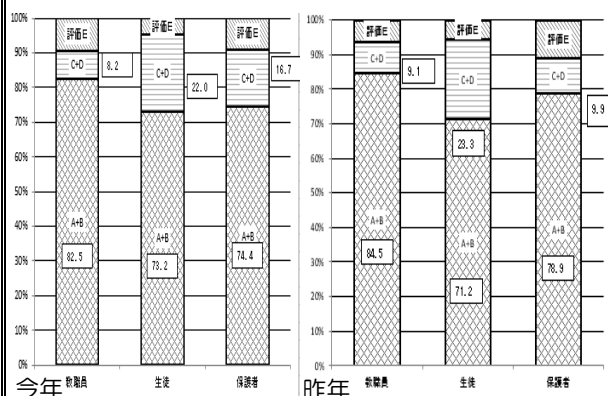
昨年と比較すると教職員の肯定的評価が増え、否定的評価が20%減りましたが、まだどの学部も40%あります。生徒の肯定的評価が減り、否定的評価が増えました。専修部の学生の肯定的評価が減り、否定的評価が増えたのが理由です。



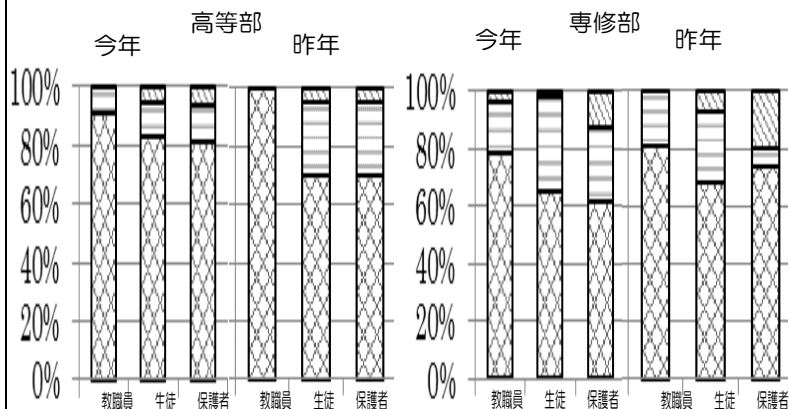
【課題・反省等】まだまだ否定的な評価が40%あるということを真摯に受けとめ、ハード面の改修についてはすぐには難しいところもありますが、ソフト面も含め、安全、安心の学校づくりの観点から改善に努めてまいります。

16 学校行事

スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか



昨年と比べると、ほぼ同じ結果が出ていますが、保護者の否定的評価が増えています。高の生徒の否定的評価は減りましたが、専の学生は少し増えました。



【課題・反省等】今年は5年ぶりにグラウンドでスポーツフェスティバルが行われ、アンケート等でも好評でした。生徒が主体的に取り組み、一人一人が充実感を持てるような行事を企画、運営したいと思います。専修部についても引き続き、自主的にスポフェスや文化祭に参加することができるようになりました。各部の行事も含め、学生の感想なども聞きながら、今後の行事の企画に活かしていきます。

4 おわりに

今回の学校教育自己診断で明らかになった個々の課題については、次年度以降も各学部、各分掌で改善に向けた取り組みを続けてまいります。